

四谷の

千枚田だより



第29号

新年祝賀会

一月七日、公民館連谷分館、連谷コミュニティ主催で、新市「新城市」が誕生して最初に迎える記念すべき年の初めに穂積市長、加藤・森市会議員をお迎えして新年会が開かれました。

穂積市長さんの挨拶

明けましておめでとうございませう。本日は新年の祝賀会にお招きいただきましてまことに有り難うございました。特に、昨年の四谷の千枚田サミットには本当に連谷の皆さんにはお力をいただきましたおかげで、全国でも非常に抜きん出た評価をいただきました。先だって、愛知県の土地改良連合会に於いても職員の方がサミットにおいて下さ

〔投句函〕

千枚田の冬耕の土黒ぐると
鶯の悠ゆう描く輪の中

四谷 小山志子

ったようで「素晴らしいサミット」であったと、その後、県の方達と話をすると「イヤ、あのサミットはすごかったね」と、「よくあそこまで地元が盛り上がったね」ということで何処へ行っても素晴らしい評価をいただきました。今日は、そうしたお礼も兼ねて皆さまにお会いして、今、一度お礼を申し上げると共に、こうして新年を迎えた皆様のお顔を拝見できまして、私みたいへん嬉しく、素晴らしいことだと感謝しております。 中略

二月には、全国棚田サミットの理事会、幹事会、協議会等が開かれます。今年は、私が全国棚田協議会の会長という立場で、これか

らのサミットのあり方、棚田の保全のあり方を考えていかなければならないと、その立場になって強く思っております。こうした意味で、この連谷地区の皆さんが、この地区に掛ける思いが、ぜひ、これからも継続していただきたいと、それが、地域の発展に大きな原動力に繋がると思っています。

毎月、「四谷の千枚田だより」をいただいております。最新号(28号)では、上島田地区の棚田が紹介されておりました。本当に、私はそれを見て嬉しく思い、感動をおぼえました。四谷の千枚田をクローズアップさせたという事は、他の同じような状況の中で営農を、あるいは、棚田を守ってお

られる地区にも少しでも光を与えなければと、最新号では写真も交えて上島田を紹介されていることが、そんな思いが強く感じられました。これからも、選ばれた棚田百選、同時にその後にはあまり知られていない上島田や他地区の素晴らしい棚田にも陽があたることを考えていかなければなりません。こうした、棚田を全国的に守り立てて行く上での大きな機運としてサミットの継続を願っております。

また、本年は宮崎県の日南市において第十二回の棚田サミットが開かれます。もし、心意気を感じて参加していただければ日南市に、また、全国に鳳来、四谷



の千枚田の火を輝かして頂けるのではないかと思います。こんなお願いを兼ね、おじゃまをしました。ともあれ、地区の皆さんには素晴らしい一年になる事をお祈りいたしましてお礼のお言葉といたします。

市長さん議員さんをお迎えして、連谷地区の将来に大きく明るい展望が持てる有意義な新年祝賀会を企画された役員の方、お世話さまでした。

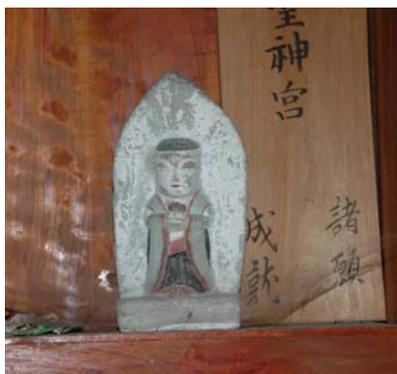
聞き書き(舞)

聖さま

それは徳川八代將軍吉宗（1700年代）の頃、諸国を巡る修行僧がある年の春、大林村にたどり着きましたが、ここで一步も歩けないほどの重い病に罹ってしまいました。村の人達は今の寺坂の下の松林の中に庵を建て、養生させることにしました。そして、村の人達は食事や薬など何くれとなくお世話をしました。僧はいつとなく「聖さま」と呼ばれるようになりました。

聖さまは毎日集まって来る子供達に諸国の珍しい話を聞かせるのが楽しみでした。話のお札に子供達は自分の年の数だけ輪につないだ松カサを差し上げると聖さまは軒端に掛け大変喜びました。小さな庵は松カサで一杯になったそうです。三年目の秋、聖さまは病が重くなり枕元に集まった村

の人達に最後の息を引き取る時「大変長い間、肉親も及ばぬお世話を戴きお礼の申しようもありません、私は死にましても魂はこの村に留まっていつまでもこの村が栄えるようお守りしたいと思います。皆さんがもし病気になるましたら私の名前を三べん呼んで下さい。病気をきつと治して差し上げます。病気が治りましたら年の数だけ松カサを輪につないで私の墓に供えて下さい。私は今まで心のこもった松カサに取り巻かれて大変幸せでした。」と言って亡くなりました。



二年三年と経つうちに聖さまにお願いして、病気の治った近隣の人々がお礼に訪れ墓の周りは松カサの輪で一杯になりました。

寛政の頃、大林寺を開かれた偉い和尚様は村中が一望でき、子供達が「釜淵」で水遊びする声が聞こえるお寺の南向きにお祠を建て、聖さまをお迎えし旧暦の三月二十日をお祭りの日と定めました。

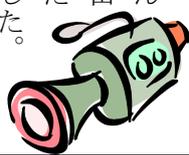
時代は過ぎ、昭和三十年代後半、化学工業の発達から神武景気、経済成長、飽食の時代へと突入しました。開発の波は河川改修まで

及び、自然を無視した三面張りの河川へと変貌してしまいました。そんな折り、園長さん、園長さんと親しまれた大林の小野田幸夫さんは子供達が水遊びのできる環境「ふるさと」を残すことを「聖様」に誓い、合

戸川の「釜淵」を三面張りの河川改修から守りました。自然環境が重視される現在では当たり前の話ですが、経済成長まっただなかの昭和四十年代半ばに、お役人に立ち向かい「釜淵」を守ったことは相当に嫌われ者、こんじん様扱いをされたのではないかと思います。

そして、聖さまの祀られているお祠には、今でも松カサが供えられています。

千枚田DVD



豊橋の遠山さんから四谷の千枚田をビデオ撮影したDVDが届きました。内容は①棚田の田植え：2分37秒②棚田の収穫期：5分35秒③収穫期の餅つき：6分37秒です。

DVDのスケッチは遠山清美さん 撮影・編集は鎌子千重さんで、何かにお役に立てばと送っていただきました。ご覧になりたい方は(舜)

まで連絡下さい。なお、お二方とも四谷の千枚田に魅了され、しょっちゅう訪れている方達です。

投句函

千枚田刈田に残る捨棄山子
千枚田美し眺めの稲架襖

豊明市 河合 満



湧き水

はっゆめ

千枚田の高い石崖を登っている夢をみた。もうチョットで登り切る所で、上から仲間が手をさしのべてくれた。これで、楽に登れると思つたら下からも足を引っ張られ、なかなか登れない。それを近くで見っていた溜水の二三男さん(地域の知恵者)が「世の中、こんなもんよ」と笑った。

そこで眼がさめた。

行 平成十八年一月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二